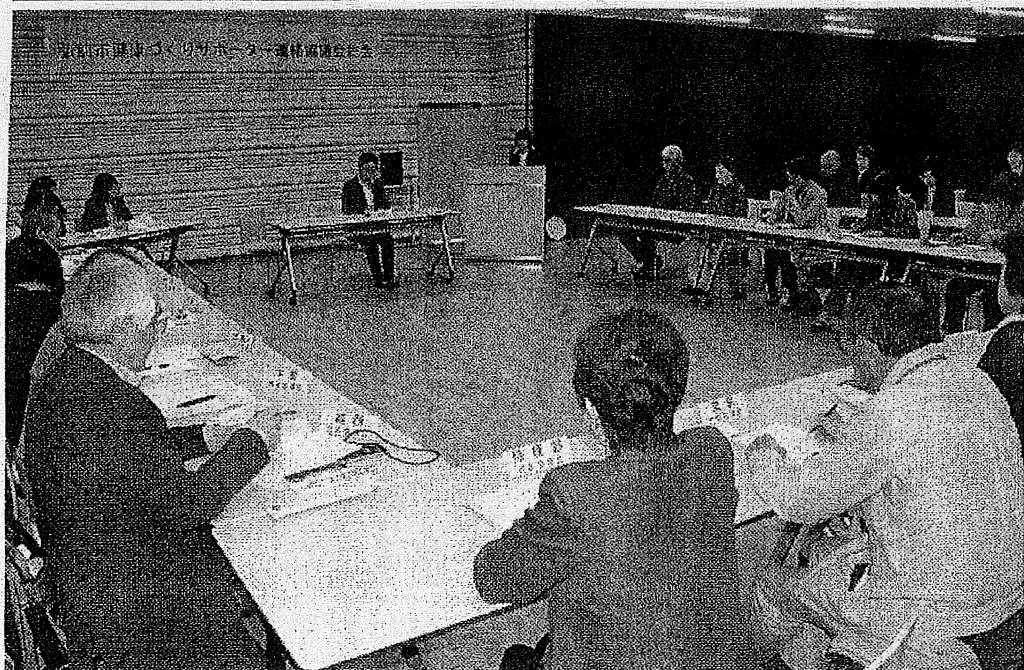




40代の検診受診に注力

弘前市健康
サポーター 総会で活動計画確認

健康づくりを学び、自ら実践し、家庭や地域に知識を広げる「弘前市健康づくりサポーター」の連絡協議会（成田津江会長）は25日、同市のヒロロ3階健康ホールで総会を開いた。同市で40代のがん検診受診率が低い状況にあることから、2017年度の活動テーマ、活動計画を決定した総会

健康に「40代 健康に自信があっても、健康（検）診を」に決めた。

市健康づくり推進課によると、市が委嘱したサポーター数は同日現在で352人。16年度に発足した連絡協議会は、市内23地区にあるサポーター地区協議会の代表者で構成している。

総会では活動計画などを審議。17年度は、がん検診や弘前市の健

診、糖尿病予防などを学ぶ研修会を4回開くほか、「いきいき健診」「岩木健康増進プロジェクト健診」への協力、「食と産業まつり」で健診・検診受診の呼び掛けなどを行うことを確認した。

また、この日決まったテーマに沿った活動を各地区で展開する予定。同課は、各地区のサポーターと保健師に40代が集まる場に出向いてもらい、検診の受診を勧めることなどを想定している。

（齋絢一郎）